

計算書類に関する注記（一般会計）

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券について、市場価格のあるものについては時価評価を行っている。

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品一定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金－期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、貸付金、未払金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は3に記載のとおりである。

(5) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	907,824,000	0	6,689,400	901,134,600
定期預金	280,265	805,200	0	1,085,465
合計(基本金)	908,104,265	805,200	6,689,400	902,220,065

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現預金	17,449,225	19,285,849
未収金	3,045,894	7,337,011
仮払金	0	86,876
貸付金	6,000,000	0
合 計	26,495,119	26,709,736
未払金	474,904	775,048
預り金	92,856	84,757
合 計	567,760	859,805
次期繰越収支差額	25,927,359	25,849,931

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産か らの充当額)	(うち一般 正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	901,134,600	901,134,600	0	0
定期預金	1,085,465	1,085,465	0	0
小 計	902,220,065	902,220,065	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	5,752,520	0	0	5,752,520
運営準備引当預金	16,864,780	0	0	16,864,780
小 計	22,617,300	0	0	22,617,300
合 計	924,837,365	902,220,065	0	22,617,300

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	688,065	451,540	236,525
合 計	688,065	451,540	236,525

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	18,620,839
合 計	18,620,839